

上田市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間

令和5年度(2023)～令和14年度(2032)

上田市は、^{すがだいらこうげん}菅平高原や^{うつくしがはらこうげん}美ヶ原高原に代表される山々の緑と、^{ちくまがわ}千曲川やその支流に流れ込む清流などが織り成す豊かな自然環境が広がっています。中世には、上田城が築かれ城下町が形成されたことで、政治・文化の中心、物資の集散地としてその後長く栄え、明治から大正時代にかけては、^{さんしゅ}蚕種・^{ようさん}養蚕・^{かいしぎょう}製糸業の発達により「^{さんとうえだ}蚕都上田」と呼ばれるまでの繁栄を遂げました。

上田市には、上田城跡や旧常田館製糸場施設のほか、養蚕家屋やため池、共同浴場など、歴史や文化、地域の営みを背景とした多様な歴史的建造物が各所に点在し、祇園祭や^{おんばしらさい}御柱祭など、地域に根差した民俗芸能や年中行事等が現在まで継承されています。こうした歴史的建造物と伝統的活動とが一体となって、上田市の歴史的風致を形成しています。

1. 城下町と周辺集落の祭礼・行事にみる歴史的風致

【上田城と城下町】

中心市街地や上田城跡を舞台に^{しんしゅうえだ ぎょん}信州上田祇園祭や花見などの行事がつづいている。



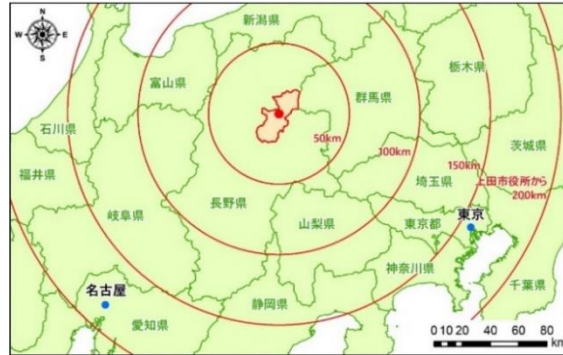
信州上田祇園祭

【周辺集落】

城下町の西部に位置し、北国街道沿いに連なる^{うぶつか あきわ かみしおじり}生塚、秋和、上塩尻では、集落の神社を中心に行われる例祭が古くからつづいている。



鳥追い行事



2. 塩田地域のため池群と神社仏閣にみる歴史的風致

【塩田地域のため池による水の確保と稲作】

少雨という自然条件のもと、ため池灌漑を築き、豊作祈願や少雨の際には雨乞い行事を行うなど、稲作に関わる地域ぐるみの営みが今もつづいている。



雨乞い(百八手)



塩田平の礼所巡り

【霊峰に囲まれた塩田平の神社仏閣群】

地域全体に点在する寺社や地域のお堂には、古くに^{かんじょう}勧請された仏様が今でも大切に保管されつづけており、これを巡る礼所巡りが行われる。

3. 信濃国分寺にみる歴史的風致

信濃国分寺を舞台とした^{ようお だうきんにち}八日堂縁日では蘇民将来符の頒布習俗が継承されている。



上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗

5. 真田地域の集落の祭礼にみる歴史的風致

真田地域の獅子舞(^{だいこくろ}大神楽)は集落ごとに特徴をもち、住民で協力しながら継承されている。



山家神社の大神楽

4. 丸子温泉郷の営みと例祭にみる歴史的風致

地区ごとに有する共同浴場は地域住民が共同で運営している。また、^{かみけ}鹿教湯温泉を行列する祇園祭が古くからつづいている。



西内地区の祇園祭

6. 武石地域の祭礼にみる歴史的風致

おねり行列や、御柱曳きが行われる子檀嶺神社の御柱祭は、多くの住民が参加する武石地域の伝統行事にもなっている。



おねり行列

